

# < 目 次 >

とってもお勧めコマンド

ちょっとお勧めコマンド

¥ 有料コマンド (御入用の方は担当営業に御相談下さい。)

(使用不可なコマンドは、あえて省いていますので、説明のないコマンドも有ります。)

## ( 1 ) `di/` = date interface

- ¥ `cnvrtstl` - SLA形式のファイルをバイナリからASCIIへ、又はASCIIからバイナリへ変換
- ¥ `rdsla` - SLA形式のファイルを.pfmファイルへ変換
- ¥ `rdvda` - VDA形式のファイルを.pfmファイルへ変換
- ¥ `wrtsla` - .pfmファイルをSLA形式のファイルへ変換

## ( 2 ) `drafting/` = 製図機能

- `arowchn` - 連続寸法線の修正 ----- 2 - 1
- `coorlabl` - 指示した点の座標値を引出線にして表示する ----- 2 - 2
- `dicirtbl` - 円の中心座標を表にする ----- 2 - 5
- `drwtyp` - 図面中のレイヤの表示状態をビューで制御 ----- 2 - 6
- `freez` - モデルに追加された要素を製図に反映させない ----- 2 - 8
- `model` - ビュー、機械座標の要素をモデル領域へ ----- 2-10
- `titlebox` - 製図の表題欄を作成 ----- 2-11
- `txt_conv` - 注釈文字、引出線のフォントの変更 ----- 2-13
- `txtbybox` - 矩形で指定した中に注釈文字を配置 ----- 2-14

## ( 3 ) `general/` = 一般機能

- `icondrft` - 部品をアイコン化して表示 ----- 3 - 1
- `mverify` - 要素のデータを確認 (表やファイルに出力) ----- 3 - 2
- `rgnlinat` - 製図での線属性変更をモデル領域へも反映させる ----- 3 - 3
- `smbypln` - 平面上での部品の作成 ----- 3 - 4
- `ucs_auto` - 指定した直線で座標作成 ----- 3 - 7
- `units` - 長さの単位を変更 ----- 3 - 8

## ( 4 ) `geometry/` = モデル作成

- `aplnar` - スプラインを直線・円弧近似 ----- 4 - 1
- `appbez` - ベジエ近似 ----- 4 - 2
- `cntarc` - `円` `2点と1接線` ----- 4 - 3
- `crossp` - 作業座標軸に平行な十字線を作成 ----- 4 - 4
- `crtansrf` - 曲線に接するルールド面を作成 ----- 4 - 5

	<code>crvgraph</code>	- 2D/3D曲線の曲率又は曲率半径のグラフを作成	
	<code>crvmap</code>	- 曲面の曲率分布図を色分けして表示	
	<code>deldup</code>	- 重なった要素の削除 -----	4 - 6
	<code>divtrs</code>	- 閉じたトリム面を2つの曲面に分割 -----	4 - 7
	<code>dvdspl</code>	- ベジェスプライン線の折れ点の表示、分割 -----	4 - 8
	<code>findintr</code>	- 同一平面上にない2つの直線の仮想交点 -----	4 - 9
	<code>gear</code>	- ギアを作成 -----	4-10
	<code>line2pln</code>	- 平面に垂直な直線作成 -----	4-11
	<code>mathcrv</code>	- 計算式の指定により、曲線と面を作成 -----	4-12
	<code>mfilet</code>	- モデルをソリッド形状にしてフィレット作成 -----	4-16
	<code>msrfoff</code>	- 複数面のオフセット（面の制限は有りませんが、動きは一定していません）	
	<code>offsets</code>	- オフセット -----	4-18
	<code>polygon</code>	- 正多角形の作成 -----	4-19
¥	<code>qspllit</code>	- サーフェスモデルの分割を行う解析ツール	
	<code>readcmm</code>	- 3次元測定器のデータを読み込む	
	<code>secpnt</code>	- 曲線と平面、曲面間の交点を作成 -----	4-20
	<code>sla2plf</code>	- SLA形式の面を部分平面に変換 -----	4-21
	<code>srfshell</code>	- キャビティとコアを線属性によって分割 -----	4-22
¥	<code>wf2srf</code>	- ワイヤーモデルからサーフェスモデルを作成 -----	4-24
	<code>wrap</code>	- 2次元平面要素を曲面に張り付ける -----	4-25

( 5 )	<code>nc/</code>		
	<code>rd_nc</code>	- NCデータを読み込む -----	5 - 1

( 6 )	<code>solid/</code>		
¥	<code>sol2sla</code>	- ソリッド形状を、SLA形式のファイルへ変換	

( 7 )	<code>udemo/</code>		
	<code>autodraw</code>	- 自動的に図面を作成 -----	7 - 1
	<code>cimagraf</code>	- pfmからcgi、cgiからpfmのファイルの変換	
	<code>deld</code>	- 要素の削除 -----	7 - 2
	<code>editbyid</code>	- ID番号から要素を検索 -----	7 - 3
	<code>electrod</code>	- 放電加工用に要素を割り当てし、座標系も作成 -----	7 - 4
	<code>fix2dgap</code>	- 同一平面上のズレの修正 -----	7 - 6
	<code>hdl</code>	- サーフェス面の隠線処理 -----	7 - 7
	<code>modnote</code>	- 注釈文字、引出線のフォント、大きさ等を変更 -----	7 - 8
	<code>spl2crv</code>	- 円弧の円近似 -----	7 - 9
	<code>txtoncrv</code>	- 注釈文字をスプライン曲線に沿って配置 -----	7-10
	<code>usrflat</code>	- 指定の平面に輪郭線のない面の輪郭を投影	

<code>wr2sk</code>	- ワイヤーで描いた要素をソリッド領域へスケッチとして出力	7-11
<code>xpldnote</code>	- 注釈文字を要素分解	7-14

( 8 ) セイロ作成プログラム (御入用の方は担当営業に御相談下さい。)

¥	<code>chcurv</code>	- モデル領域で注釈文字を作成	8 - 1
	<code>ofse10</code>	- 複数回指定のオフセット	8 - 3
¥	<code>disxyz2</code>	- モデル領域で指定した点の座標値を表示を引出線で表示。 ファイル出力も可	8 - 4
¥	<code>exgear2</code>	- J I S 標準歯車規格に準拠したインボリュート平歯車を作図	8 - 5
¥	<code>nc_in3</code>	- N C データを直線、点、円弧等により描画	8 - 6
¥	<code>prfdrl</code>	- 指定輪郭の内側に穴あけ加工を行う	8 - 7
¥	<code>pts4</code>	- 点要素の座標値をファイルに出力	8 - 8
¥	<code>sweepssf</code>	- 閉輪郭を掃引し、掃引面および側面作成	8 - 9